

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年10月14日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	琴浦町	代表者名	小松弘明
担当者部署	社会教育課	連絡先電話番号	0858-52-1115
担当者役職		担当者氏名	
住所	689-2303 鳥取県琴浦町徳万266-5		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	岡本 真
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	〇ワークショップに向けた考え方、進め方などをわかりやすく、丁寧に説明していただきました。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年10月8日	13時00分	16時00分		180
3-2. 派遣場所	会場名	琴浦町生涯学習センター		最寄駅	浦安駅
	所在地	鳥取県東伯郡琴浦町徳万266番地5			
	最寄駅からの交通手段	徒歩2分			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	6人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	〇図書館は地域文化や歴史、産業振興、医療福祉情報など、町民の暮らしを支える地域の情報拠点の機能を備えているなどの、図書館からの情報発信が必要である。 〇そのためには、図書館職員自体の意識改革が必要である。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	〇生涯学習センターが図書館を核として、町の情報発信の拠点となる。 〇図書館の持つ機能を積極的に発信し、生涯学習の場として、また、町民や町内のまちづくり団体などの交流拠点となる。 〇図書館が町民が憩い、誰もが安心して利用できる居場所としての役割を担う。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	〇図書館を含む生涯学習センター、および周辺の状況と利用状況等の確認。 〇先進地事例を紹介しながら、図書館改革等の意義、ワークショップ開催に当たっての具体的な進め方などを職員に説明・助言。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	〇職員の意識が少しずつ変化してきている。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。